



# 第1回 日本体育大学 救命蘇生研究会

挑 戦 - 救急救命士の未来に向けて、今、心をひとつに -

主催：日本体育大学 救急 蘇生・災害医療学研究室

共催：東京消防庁 救助救急研究会

- ・日 時 2018年8月25日(土)9:30~18:00 (受付9:00-)
- ・場 所 日本体育大学 世田谷キャンパス 世田谷区深沢7-1-1
- ・内 容 救急医療学科在校生・卒業生・教員・医療従事者等による研究発表と意見交換
- ・参加費 無料(救命蘇生学に興味のある方はどなたでも参加できます。)
- ・問合せ先：救急 蘇生・災害医療学 研究室 中澤 真弓 (9421研究室)

電話 045-507-7294 内線 879 メール nakazawamayumi@nittai.ac.jp

参加をご希望される方は、参加申込フォームに入力または問合せ先までお知らせください。



参加申込フォーム

※ 研究会の発展のため、受付時にアンケートを配布いたします。お帰りの際に受付の回収箱にご提出ください。  
また、研究会当日の記録写真を広報に活用させていただく場合がございます。ご協力をお願いいたします。

## プログラム

※演題は2018年8月6日現在のものであり、変更になる場合があります。

### 第1会場 教育研究棟2階2201教室

9:30 - 9:40 開会式

9:40 - 10:40 基調講演 山本 保博 教授 東京曳舟病院院長・保健医療学研究科 教授  
座長：小川 理郎

「地震災害や豪雨被害をニュース番組はどう伝えたか。過大報道や流言報道を考える。」

10:45 - 12:00 口演① それぞれの「挑戦」

座長：小玉 響平 (4年) 助言者：鈴木 健介 准教授

1. 斎藤 千真 (4年) 部活動の顧問や生徒のニーズに合わせたファーストエイドコースの作成とその有用性についての途中経過報告
2. 高橋 治花 (2年) Emergency first aid for NGO講習会について
3. 栗屋 天翔 (2年) 米国シアトル救急車同乗実習の効果
4. 池田 匠 (2年) 実習の補講による意識改革
5. 宇田川 美南 (救急救命専門指導教員) 救急救命士の大学院進学
6. 西本 好希 (日本情報通信NI+O株) 民間企業で働く救急救命士の一例
7. 宮永 彩加 (日本医科大学多摩永山病院) 救急救命士資格を有する看護師の役割
8. 小澤 貴裕 (一般社団法人ファーストエイド) CPRトレーニングボットの開発と、心肺蘇生法普及啓発の新たな取り組み
9. 大島 健太郎 (東京消防庁) 国家試験合格を目指した勉強会「大島組」

12:00 - 12:45 休憩

(裏面に続く)

## 12:45 - 14:00 □演② 災害に立ち向かう

座長：斎藤 千真（4年） 助言者：原田 諭 救急救命専門指導教員

1. 川邊 貴大（4年）学生消防団員の意識調査
2. 岡野 透（4年）過去の災害から見る自助・共助
3. 小玉 響平（4年）本学の学生を対象としたロジスティクス研修の実施について
4. 小倉 勝弘（救急救命専門指導教員）小田原 花火大会の救護ボランティア活動と急変対応報告
5. 須賀 涼太郎（助手）呉市豪雨災害ボランティア活動報告
6. 北野 信之介（院生）平成30年7月豪雨の活動を通して考えるロジスティクスの業務改善
7. 井上 将仁（東京医大八王子医療センター）南多摩医療圏災害医療ワーキンググループの活動
8. 坂田 健吾（救急救命専門指導教員）気温データより救急出場件数が予測できるか
9. 服部 充宏（日本気象協会）気象と熱中症

## 14:10-15:25 □演③ 医療従事者として

座長：川邊 貴大（4年） 助言者：小倉 勝弘 救急救命専門指導教員

1. 阿部 雅治（2年）車と自動二輪車の接触事故について
2. 伊藤 彩奈（2年）小田原北條五代祭りでの救護活動報告
3. 伊藤 俊孝（2年）青葉台駅内における過換気症候群の女性の対応について
4. 池沢 司（2年）ライフセービング活動におけるFA対応について
5. 緑川 亮（2年）一年次解剖実習を振り返って後輩に伝えたいこと
6. 天野 智仁（1年）傷病者対応についての症例報告
7. 山田 桃由（1年）海浜実習についての報告
8. 佐藤 ゆずほ（1年）スパルタンレースの救護対応
9. 篠田 櫻（1年）救助救命医療学演習についての報告

## 15:30-16:20 特別講演 田邊 晴山 教授 救急救命東京研修所・日本医科大学救急医学教室

「救急現場での処置拡大をふまえた今後の救急救命士養成教育のあり方」

## 16:25-17:30 パネルディスカッション「日体大 救急医療学科の将来展望」

司会：野口 英一 学事顧問

2014年に開設された学科は完成年度を終了し、今年度で5年目を迎えた。救急 蘇生学、災害医療、国際活動の3つを柱として、実践的な指導的な立場で活躍する人材育成と研究、地域貢献などに今後取り組んでいく。また救急災害医療修士の大学院も開設されさらなる飛躍が望まれる。病院前救護の現状を踏まえパネリストに当学科の将来展望について語ってもらう。

1. 須賀 涼太郎 救急医療学科 助手
2. 北野 信之介 保健医療学 研究科修士課程
3. 藤本 賢司 横浜市消防局
4. 吉田 茂男 救急救命専門指導教員
5. 中澤 真弓 救急医療学科 准教授
6. 鈴木 健介 救急医療学科 准教授
7. 小川 理郎 救急蘇生災害医療学 研究室長

## 17:30 - 閉会式

## 第2会場 教育研究棟2階2202教室

### 10:40-15:30 交流ラウンジ

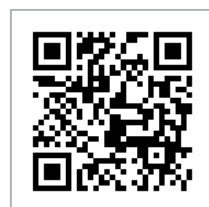
在校生・卒業生・参加者が自由に交流していただけるよう、スペースを開放しております。  
展示ブース、就職相談、休憩コーナーなど、ご活用ください。

### 12:15-13:45 ワークショップ「学校における緊急時の対応」

講師：鈴木健介

「緊急時の対応シミュレーション」を体験して頂き、  
学校で開催するために必要なノウハウをお伝えします。

事前予約はこちらから→<https://goo.gl/forms/cINrQEsH9BK9sr872>



ワークショップ申込フォーム

\* 文部科学省科学研究助成事業「養護教諭が行う緊急度評価能力の検証と教育システムの開発」の一環として開催しております。